

水と緑に関する意識調査

調査結果

平成28年3月

浦添市

調査結果

1 調査概要

1) 調査目的

みどりに関する住民意識調査としては、平成9年度に実施した「浦添市公園及び緑に関する市民意識調査」がある。この調査より18年が経過し、社会情勢や住民のニーズなどが変化していると考えられることから、改めてみどりに関する住民意識調査を実施する。

設問の検討にあたっては、平成9年度調査と比較できるように留意し、調査結果については、今後の計画の見直しをはじめとしたみどりの風景づくりに関わる施策展開に役立てる。

2) 実施要領

- ・調査地域：浦添市全域（キャンプキンザーを除く）
- ・調査対象：市内在住の満20歳以上の男女
- ・抽出方法：3,000件を大字ごとの人口で按分して各大字配布数を決定
- ・調査方法：郵送による配布・回収
- ・配布日（郵送）：平成27年12月1日（火曜日）
- ・回収期限：平成27年12月21日（月曜日）
- ・調査についての広報：

水と緑に関する意識調査を実施します
美らまち推進課（内線4061）

市では、「太陽とみどりにあふれた国際性ゆたかな文化都市」を目指し、公園整備や道路の緑化、河川の親水化などに取り組んでいます。こうした取り組みをさらに進めるにあたり、「ティードグナフアみどり計画」の見直しをはじめとする今後の施策展開に役立てるため、水と緑に関する市民意識調査を実施します。ご自宅に調査票が届いた方は、調査へのご協力をお願いします。

【調査について】
対象者 市内在住の20歳以上の方3,000人を無作為に選出。
実施方法 対象者宛に調査票を郵送します。調査票に回答を記入後、同封の返信用封筒に入れ、ポストへ投函してください。（切手不要）
また、アンケート調査と併せ、関連情報の提供や意見募集を行います。詳しくは、ホームページでご確認ください。

10月号の「うらそえ」 2015年670号

読書の秋、たくさん本の国の言葉で読み聞かせ

10月号の「うらそえ」は、浦添市は国際性とJICA支援の林野公園で、種々な国の言語による読み聞かせを掲載しています。詳細はP7をご覧ください。

市の人口
A 11402 A(118) A1
B 5527 A(100) A2
C 5862 A(115) A3
世帯数 47,882世帯 (4124)
平成27年9月末現在

P2-3 平成27年度 中学生平和交流事業
沖縄戦から70年 伝えていく平和への思い
P4 浦添市在住者表彰制度受入事業
認知症カフェを開催しました
P14 「浦添市プレミアム商品券」
(1次募集残りの再募集について)

098-941-9161 55 http://www.city.urasoe.lg.jp 浦添市公式ウェブサイト

▲詳細はこちら!

図 1-1 広報うらそえでの告知（2015年10月号）

表 1-1 調査内容

大項目	小項目
属性	1-1 性別 1-2 年齢 1-3 家族構成 1-4 市内居住歴 1-5 居住地 1-6 住居形態 1-7 住まいのみどりの場所
緑全般について	① みどりがあるメリット ② みどりがあるデメリット ③ 浦添市全体のみどりの量の評価 ④ 15年前と現在の浦添市全体のみどりの量の比較評価 ⑤ 現在の市内のみどりに対する満足度 ⑥ 市内の好きなみどり、大切にしたいみどり ⑦ 市内でもっともすきなみどりの場所 ⑧ 市内のみどりを増やすとよい場所 ⑨ 市内のみどりの現状の問題点
身近な緑について	⑩ 居住地のみどりの量の評価 ⑪ 15年前と現在の居住地のみどりの量の比較評価 ⑫ 住宅周りでみどりを感じる場所
公園について	⑬ 住宅近くの公園の利用状況 ⑭ 住宅近くの公園の利用目的 ⑮ 市内にほしい公園
取り組み・市民参加について	⑯ 地区でのみどり関連の活動の参加・認知状況 ⑰ 市によるみどり関連の活動の参加・認知状況 ⑱ 参加したみたい活動 ⑲ 市民参加のために必要な取り組み ⑳ みどりのまちづくりに必要な市の取り組み
自由回答	㉑ ご意見、ご要望等

表 1-2 回収状況

配布数	回収数	回収率
3,000	571	19.0%

2 集計結果

1) 属性

①性別

「男性」(38.7%)、「女性」(60.4%)と女性の回答が多くなった。

表 2-1 性別

	回答数	構成比
男性	221	38.7%
女性	345	60.4%
無回答	5	0.9%
計	571	100.0%

②年齢

「60代以上」(37.8%)が最も多く、次いで「40代」(21.2%)、「50代」(16.6%)の順となった。

表 2-2 年齢

	回答数	構成比
20代	49	8.6%
30代	88	15.4%
40代	121	21.2%
50代	95	16.6%
60代以上	216	37.8%
無回答	2	0.4%
計	571	100.0%

③家族構成

「二世帯同居で、小学生以下の子どもがいない」(27.8%)が最も多く、次いで、「夫婦のみ」(21.2%)と「二世帯同居で、小学生以下の子どもがいる」(21.2%)が続いた。

表 2-3 家族構成

	回答数	構成比
単身	91	15.9%
夫婦のみ	121	21.2%
二世帯同居で、小学生の子どもがいる	121	21.2%
二世帯同居で、小学生以下の子どもがいない	159	27.8%
三世帯同居で、小学生以下の子ども・孫がいる	16	2.8%
三世帯同居で、小学生以下の子ども・孫がいない	10	1.8%
その他	19	3.3%
無回答	34	6.0%
計	571	100.0%

④市内居住歴

「20年以上」(43.8%)が最も多く、「浦添市に生まれて今日に至る」(17.7%)、「10年以上、20年未満」(15.9%)と続いた。20年以上の長期在住者が約6割に達した。

表 2-4 市内住居歴

	回答数	構成比
2年未満	34	6.0%
2年以上5年未満	47	8.2%
5年以上10年未満	46	8.1%
10年以上20年未満	91	15.9%
20年以上	250	43.8%
浦添市に生まれて今日に至る	101	17.7%
無回答	2	0.4%
計	571	100.0%

⑤居住地

町丁目別では城間4丁目が21件(3.7%)と最も多く、前田1丁目と字前田が18件(3.2%)と続いた。

地域別では「中央北」(25.4%)が最も多く、「中央西」(24.3%)、「中央南」(22.8%)と続いた。一方、「北」(2.8%)は少なく、「西」(0.0%)はいなかった。

表 2-5 居住地区

	回答数	構成比
北	16	2.8%
中央北	145	25.4%
中央西	139	24.3%
中央南	130	22.8%
東	70	12.3%
南	61	10.7%
西	0	0.0%
その他・不明	10	1.8%
合計	571	100.0%

⑥住居形態

「持家 一戸建て」(46.9%)が最も多く、半数近くに達した。次いで、「借家 民間アパート」(24.9%)となり、上位2つの住居形態で約7割を占めた。

表 2-6 住居形態

	回答数	構成比
持家 一戸建て	268	46.9%
持家 分譲マンション	51	8.9%
持家 その他	6	1.1%
借家 一戸建て	14	2.5%
借家 賃貸マンション	44	7.7%
借家 民間アパート	142	24.9%
借家 公営住宅	13	2.3%
借家 間借り	7	1.2%
借家 その他	2	0.4%
無回答	24	4.2%
計	571	100.0%

⑦住まいのみどりの場所

「庭」(40.6%)、「家の周囲」(39.2%)、「ベランダ」(38.0%)の3つが多く、それ以外の場所とは大きな差があった。「緑はない」は14.0%だった。

表 2-7 住まいのみどりの場所

	回答数	回答数構成比 n = 933	対回答者数 n = 571
庭	232	24.9%	40.6%
家の周囲	224	24.0%	39.2%
生垣	41	4.4%	7.2%
石垣の緑化	21	2.3%	3.7%
ブロック塀の緑化	59	6.3%	10.3%
建物の緑化	31	3.3%	5.4%
ベランダ	217	23.3%	38.0%
緑はない	80	8.6%	14.0%
その他	11	1.2%	1.9%
無回答	17	1.8%	3.0%
計	933	100.0%	

2) 設問

①みどりがあるメリット

「心をやすらげる」(52.9%)が最も多く、次いで、「木陰をつくる」(46.6%)、「まちの表情を豊かにする」(42.0%)、「空気をきれいにする」(41.2%)が続いた。一方、「災害時の避難場所となる」(0.7%)や「騒音をやわらげる」(1.6%)は少なかった。

※今回の調査では、新たに「地球温暖化を緩和する」を選択肢に追加した。

表 2-8 みどりがあるメリット

	回答数	回答数構成比 n = 1,656	対回答者数 n = 571
木陰をつくる	266	16.1%	46.6%
レクリエーションの場を提供する	34	2.1%	6.0%
強風をやわらげる	36	2.2%	6.3%
季節感を演出する	221	13.3%	38.7%
空気をきれいにする	235	14.2%	41.2%
地球温暖化を緩和する	128	7.7%	22.4%
土砂くずれや火災の延焼などを防ぐ	21	1.3%	3.7%
生物(小鳥や昆虫など)の生息の場となる	155	9.4%	27.1%
災害時の避難場所となる	4	0.2%	0.7%
まちの表情を豊かにする	240	14.5%	42.0%
騒音をやわらげる	9	0.5%	1.6%
心をやすらげる	302	18.2%	52.9%
その他	0	0.0%	0.0%
無回答	5	0.3%	0.9%
計	1,656	100.0%	

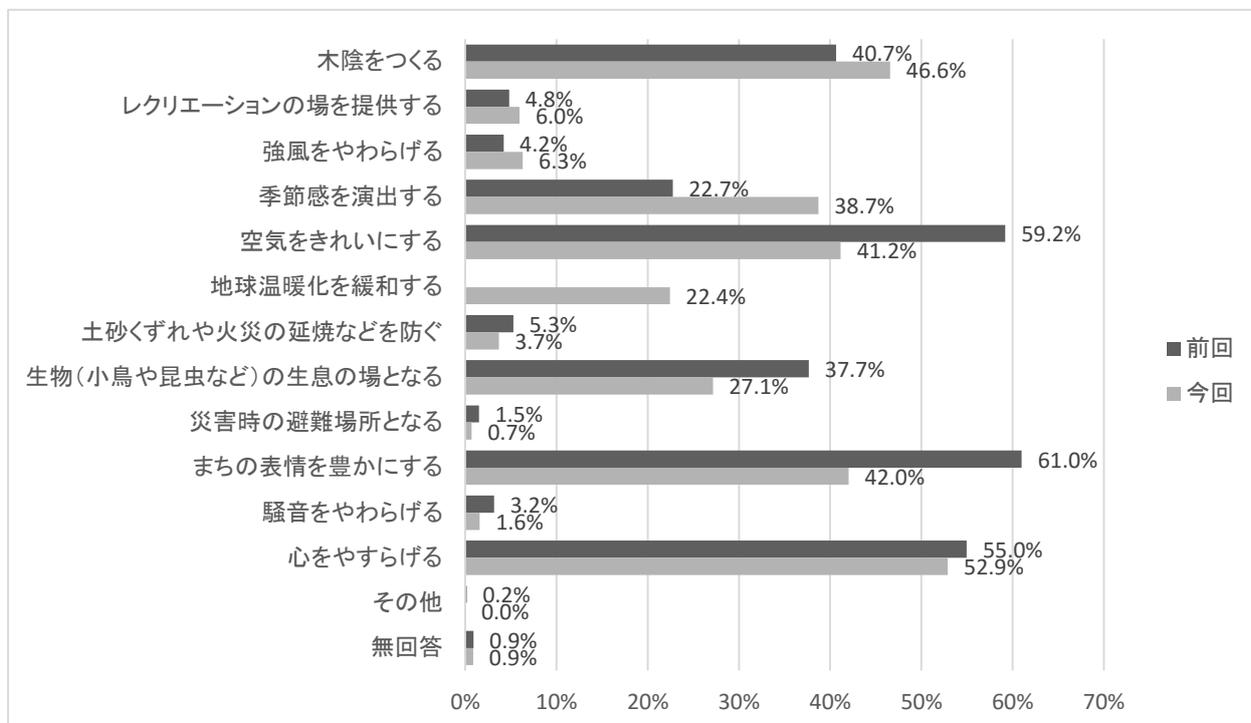


図 2-1 みどりがあるメリット

②みどりがあるデメリット

「毛虫や蚊などの害虫が増える」(47.8%) が最も多く、次いで「道路標識や広告などが見えにくい」(41.0%)、「台風時に倒木の恐れがある」(35.9%)、「落葉が多い」(34.3%) と続いた。

表 2-9 みどりがあるデメリット

	回答数	回答数構成比 n = 1,403	対回答者数 n = 571
毛虫や蚊などの害虫が増える	273	19.5%	47.8%
落葉が多い	196	14.0%	34.3%
道路標識や広告などが見えにくい	234	16.7%	41.0%
枝が通路などをふさぐ	133	9.5%	23.3%
庭木の枝や破損した鉢などのゴミが出る	109	7.8%	19.1%
日当たりが悪くなる	31	2.2%	5.4%
台風時に倒木の恐れがある	205	14.6%	35.9%
不法投棄される	92	6.6%	16.1%
浮浪者などのたまり場になる	38	2.7%	6.7%
特にない	83	5.9%	14.5%
その他	3	0.2%	0.5%
無回答	6	0.4%	1.1%
計	1,403	100.0%	

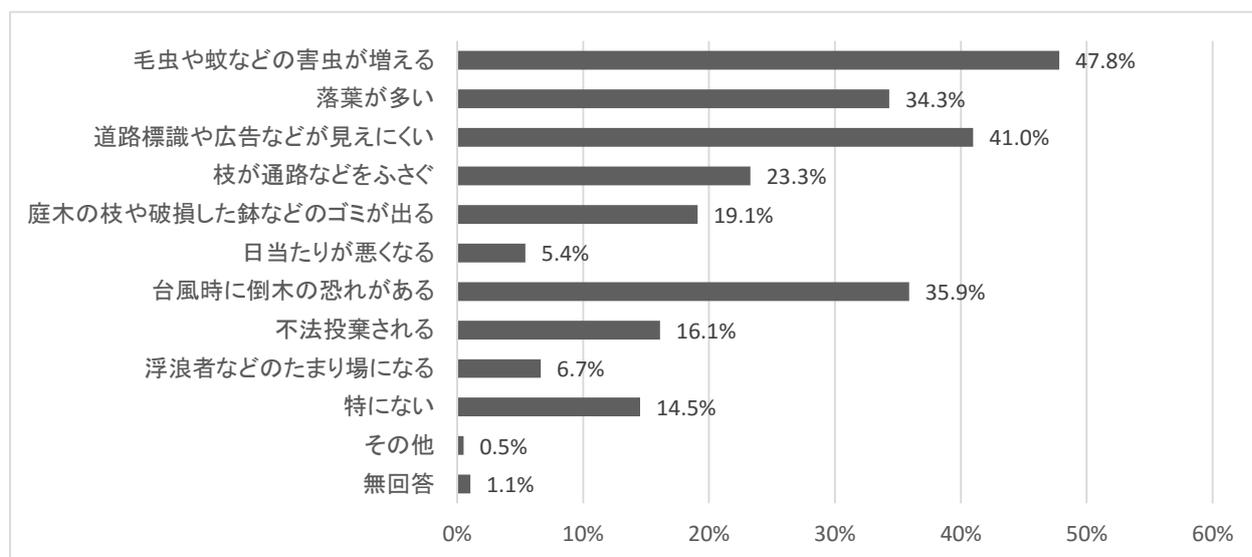


図 2-2 みどりがあるデメリット

③浦添市全体のみどりの量の評価

「どちらともいえない」(44.1%) が最も多くなった。「非常に少ない」(3.7%) と「やや少ない」(17.3%) の合計と「非常に多い」(4.4%) と「やや多い」(29.9%) の合計を比較すると、「多い」と感じている人の割合の方が高くなった。

前回と比較すると、「どちらともいえない」が増え、「やや少ない」や「非常に少ない」が減った。「やや多い」の割合も減っているものの、全体としては、やや評価が向上した。

表 2-10 浦添市全体のみどりの量の評価

	回答数	今回
非常に多い	25	4.4%
やや多い	171	29.9%
どちらともいえない	252	44.1%
やや少ない	99	17.3%
非常に少ない	21	3.7%
無回答	3	0.5%
計	571	100.0%

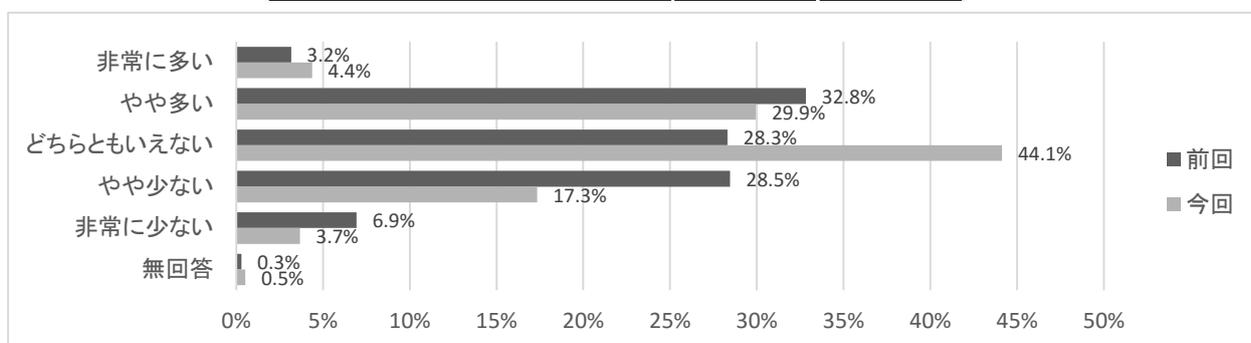


図 2-3 浦添市全体のみどりの量の評価

④15年前と現在の浦添市全体のみどりの量の比較評価

無回答が多かったが、「どちらともいえない」(28.0%)が最も多くなった。「増えた」(4.7%)と「やや増えた」(13.1%)の合計と「減った」(13.5%)と「やや減った」(15.1%)の合計を比較すると、「減った」と感じている人の割合の方が高くなった。

表 2-11 15年前と現在の浦添市全体のみどりの量の比較評価

	回答数	構成比
増えた	27	4.7%
やや増えた	75	13.1%
どちらともいえない	160	28.0%
やや減った	86	15.1%
減った	77	13.5%
無回答	146	25.6%
計	571	100.0%

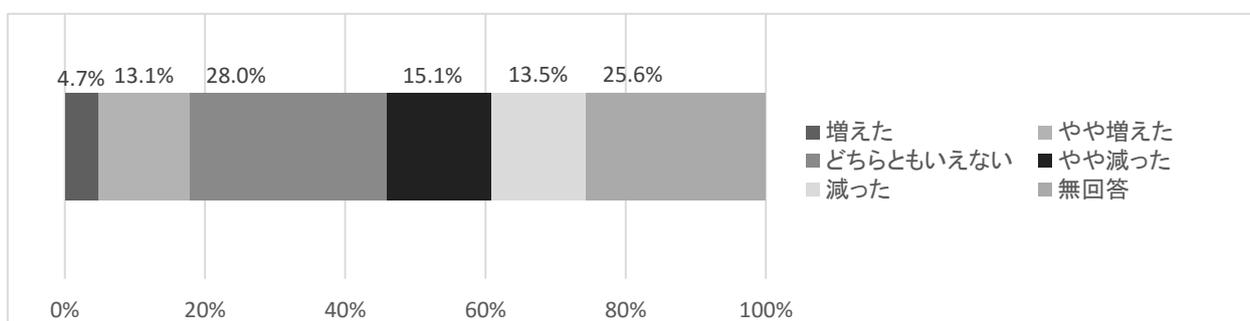


図 2-4 15年前と現在の浦添市全体のみどりの量の比較評価

⑤現在の市内のみどりに対する満足度

「どちらともいえない」(38.7%)が最も多くなった。「満足」(8.2%)と「やや満足」(26.8%)の合計と「不満」(6.0%)と「やや不満」(17.0%)の合計を比較すると、「満足」と感じている人の割合の方が高くなった。

表 2-12 現在の市内のみどりに対する満足度

	回答数	構成比
満足	47	8.2%
やや満足	153	26.8%
どちらともいえない	221	38.7%
やや不満	97	17.0%
不満	34	6.0%
無回答	19	3.3%
計	571	100.0%

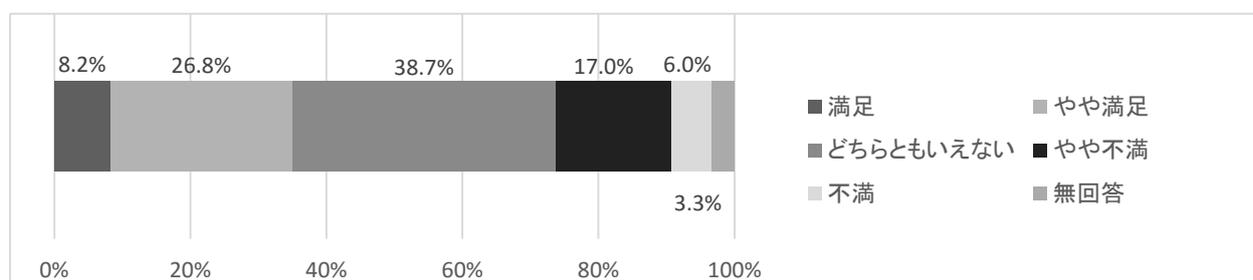


図 2-5 現在の市内のみどりに対する満足度

⑥市内の好きなみどり、大切にしたいみどり

「身近な公園や広場のみどり」(56.7%)と「街路樹など道路のみどり」(53.6%)が多く、半数以上の回答者から回答があった。続いて、「学校など公共施設のみどり」(32.7%)、「まちかどの木立や草花のうえこみ」(29.2%)の順となった。

前回と比較すると、対回答者数の割合において、「街路樹など道路のみどり」や「学校など公共施設のみどり」が上昇した。一方、「浦添グスク周辺のまとまったみどり」が大きく減少したほか、「自宅の庭や屋敷林」や「斜面や畑のみどり」、「御嶽や拝所、墓地周辺のみどり」などが減少した。

表 2-13 市内の好きなみどり、大切にしたいみどり

	回答数	回答数構成比 n = 1,615	対回答者数 n = 571
自宅の庭や屋敷林(樹木や草花)	134	8.3%	23.5%
斜面や畑のみどり	41	2.5%	7.2%
近所の生垣や庭木	80	5.0%	14.0%
街路樹など道路のみどり	306	18.9%	53.6%
御嶽や拝所、墓地周辺のみどり	51	3.2%	8.9%
学校など公共施設のみどり	187	11.6%	32.7%
湧き水や河川、水路沿いのみどり	88	5.4%	15.4%
海岸のみどり	32	2.0%	5.6%
工場や会社など事業所のみどり	9	0.6%	1.6%
身近な公園や広場のみどり	324	20.1%	56.7%
まちかどの木立や草花のうえこみ	167	10.3%	29.2%
浦添グスク周辺のまとまったみどり	155	9.6%	27.1%
米軍基地内に残るみどり	28	1.7%	4.9%
その他	1	0.1%	0.2%
無回答	12	0.7%	2.1%
計	1,615	100.0%	

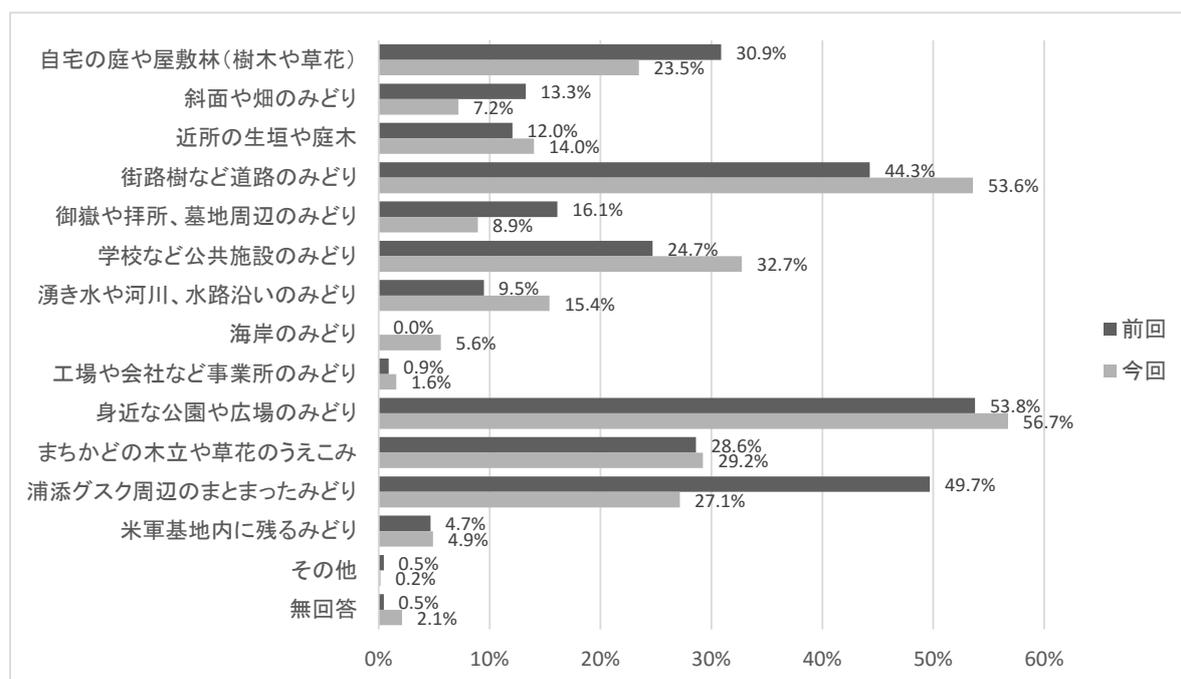


図 2-6 市内の好きなみどり、大切にしたいみどり

⑦市内でもっともすきなみどりの場所

浦添市民にとって、みどりのあるもっともすきな場所、愛着を感じる場所の第1位は「浦添大公園・城跡」(118件)となった。次いで「浦添運動公園」(52件)、「シーサー通り」(35件)、「伊祖公園・城跡」(24件)、「浦添カルチャーパーク」(16件)と続いた。

前回と比較すると、「浦添大公園・城跡」と「浦添運動公園」が1位と2位を維持した。今回3位の「シーサー通り」は、前は10位以内には入っていなかった。その他、上昇したものとしては、「パイプライン通り」や「街路樹など道路沿いのみどり全般」、「浦添バイパス」があり、街路樹など道路沿いのみどりの順位が上がった。一方、前回3位の「宮城公園」は大幅に回答数が減少し、5位の「泉小公園」は、10位以内に入れなかった。

表 2-14 市内でもっともすきなみどりの場所 (今回)

今回アンケート調査結果

順位	名称	回答数	変動
1	浦添大公園・城跡	118	-
2	浦添運動公園	52	-
3	シーサー通り	35	↑
4	伊祖公園・城跡	24	-
5	浦添カルチャーパーク	16	↑
6	内間西公園	8	↑
6	宮城公園	8	↓
6	パイプライン通り	8	↑
9	大宮公園	6	↑
9	街路樹など道路沿いのみどり全般	6	↑
10	浦添バイパス	5	↑
10	学校など公共施設のみどり	5	↑
10	自宅	5	↑

表 2-15 市内でもっともすきなみどりの場所 (前回)

(参考) 前回アンケート調査結果

順位	名称	回答数
1	浦添大公園	107
2	浦添運動公園	33
3	宮城公園	28
4	伊祖公園	23
5	泉小公園	15
6	カルチャーパーク	13
7	内間西公園	11
8	小湾川沿いの緑	6
9	自宅の庭	5
10	神森中学校の正門・周辺	4
10	仲西小・中学校	4

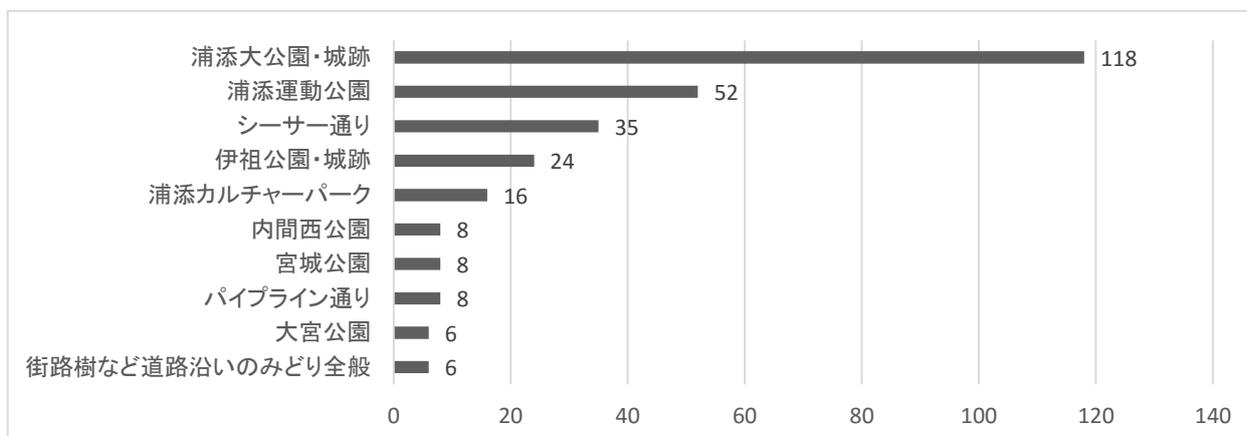


図 2-7 市内でもっともすきなみどりの場所

⑧市内でみどりを増やすとよい場所

「近所の公園や広場」(39.1%)が最も多く、次いで「買い物や通学路でよく通る道路」(36.4%)、「商店街やショッピングセンター等の人の賑わう場所」(34.0%)と続いた。

前回と比較すると、対回答者数の割合では減っているものが多く、特に「自宅の庭など住まいの周辺」や「市の歴史や文化にゆかりのある場所」が大きく減った。

表 2-16 市内でみどりを増やすとよい場所

	回答数	回答数構成比 n = 1,470	対回答者数 n = 571
自宅の庭など住まいの周辺	116	7.9%	20.3%
近所の工場や会社などの事業所	65	4.4%	11.4%
近所の公園や広場	223	15.2%	39.1%
商店街やショッピングセンター等の人の賑わう場所	194	13.2%	34.0%
近所の斜面や擁壁	44	3.0%	7.7%
市の歴史や文化にゆかりのある場所	190	12.9%	33.3%
買い物や通学等がよく通る道路	208	14.1%	36.4%
河川や水路の水辺沿い	127	8.6%	22.2%
よく利用するバス停の周辺	92	6.3%	16.1%
近所の学校や公共施設の敷地	182	12.4%	31.9%
その他	2	0.1%	0.4%
無回答	27	1.8%	4.7%
計	1,470	100.0%	

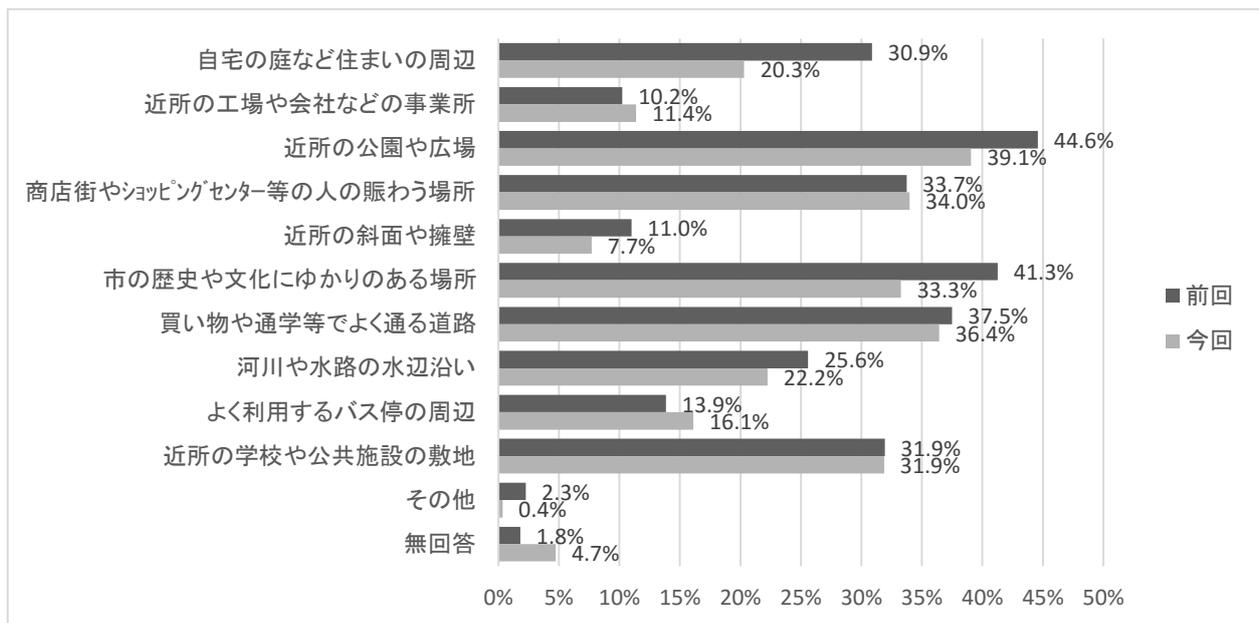


図 2-8 市内でみどりを増やすとよい場所

⑨市内のみどりの現状の問題点

「公園や街路樹の手入れが不十分である」(44.7%)が最も多く、次いで、「自然とふれあえる場所が減っている」(39.8%)、「開発によりみどりが減っている」(34.0%)と続いた。「特に問題はない」(10.0%)は1割程度にとどまった。

表 2-17 市内のみどりの現状の問題点

	回答数	回答数構成比 n = 1,360	対回答者数 n = 571
市街地に緑や公園が少ない	153	11.3%	26.8%
使いたい公園がない	93	6.8%	16.3%
川や海の水が汚れている	140	10.3%	24.5%
荒廃した樹林地が増えている	86	6.3%	15.1%
耕作していない農地が増えている	30	2.2%	5.3%
開発によりみどりが減っている	194	14.3%	34.0%
自然とふれあえる場所が減っている	227	16.7%	39.8%
公園や街路樹の手入れが不十分である	255	18.8%	44.7%
市民のみどりに対する意識が低い	104	7.6%	18.2%
特に問題はない	57	4.2%	10.0%
その他	4	0.3%	0.7%
無回答	17	1.3%	3.0%
計	1,360	100.0%	

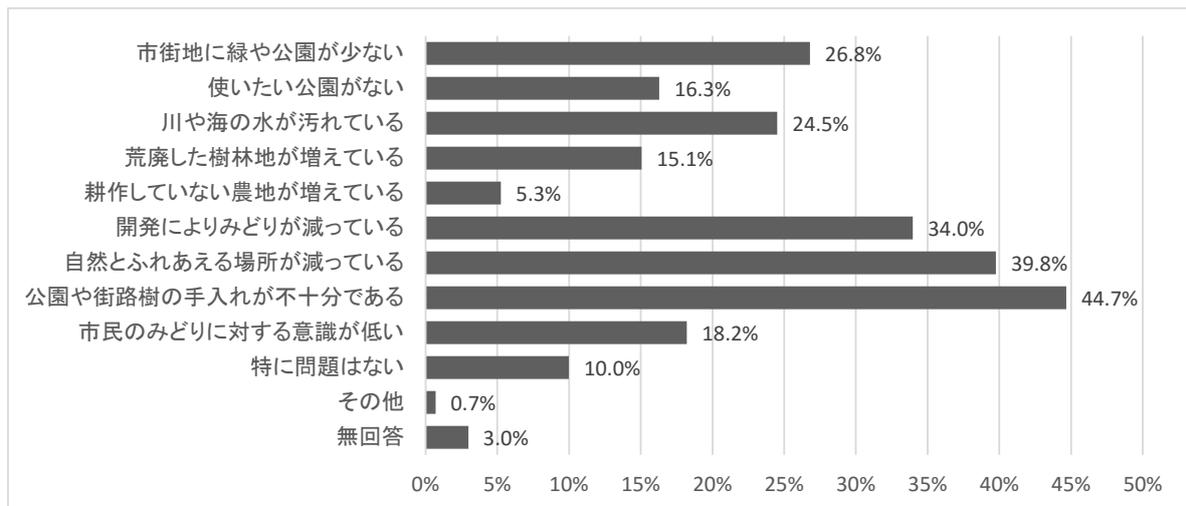


図 2-9 市内のみどりの現状の問題点

⑩居住地のみどりの量の評価

「どちらともいえない」(37.5%)が最も多くなった。「非常に少ない」(6.5%)と「やや少ない」(23.3%)の合計と「非常に多い」(4.2%)と「やや多い」(27.5%)の合計はほぼ拮抗しており、どちらも全体の3割程度となった。

前回と比較すると、「どちらともいえない」が大きく増えた。「非常に多い」や「やや多い」が減り、「やや少ない」や「非常に少ない」が増え、全体としては、評価が下がった。

表 2-18 居住地のみどりの量の評価

	回答数	構成比
非常に多い	24	4.2%
やや多い	157	27.5%
どちらともいえない	214	37.5%
やや少ない	133	23.3%
非常に少ない	37	6.5%
無回答	6	1.1%
計	571	100.0%

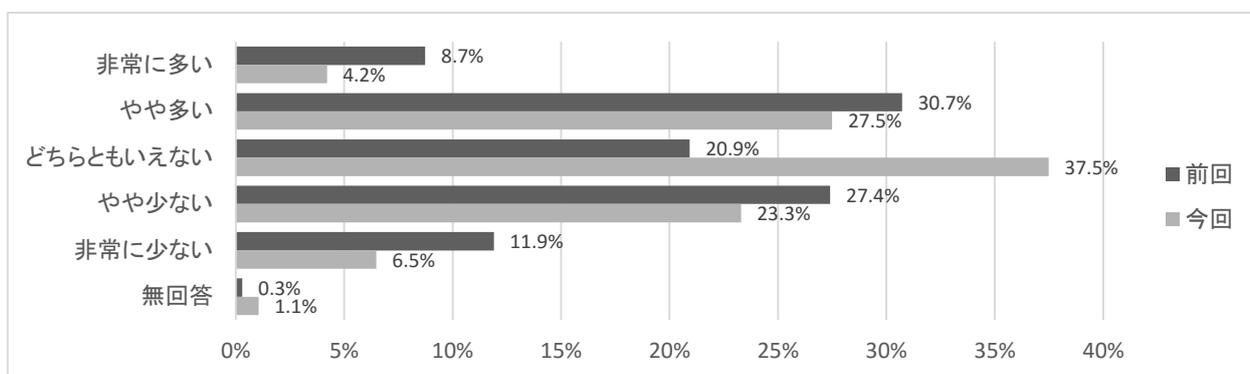


図 2-10 居住地のみどりの量の評価

⑪15年前と現在の居住地のみどりの量の比較評価

無回答が3割を超え、「どちらともいえない」(27.8%)が3割弱となった。「減った」(12.8%)と「やや減った」(14.0%)の合計が「増えた」(3.2%)と「やや増えた」(9.8%)の合計よりも多くなり。15年前と比較すると、みどりの量の評価はやや低くなった。

表 2-19 15年前と現在の居住地のみどりの量の比較評価

	回答数	構成比
増えた	18	3.2%
やや増えた	56	9.8%
どちらともいえない	159	27.8%
やや減った	80	14.0%
減った	73	12.8%
無回答	185	32.4%
計	571	100.0%

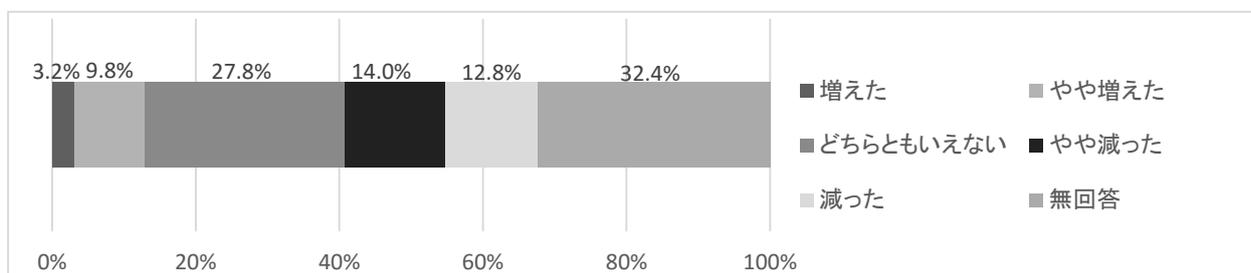


図 2-11 15年前と現在の居住地のみどりの量の比較評価

⑫住宅周りでみどりを感ずる場所

「身近な公園や広場のみどり」(53.8%)が最も多く、次いで「街路樹などの道路のみどり」(47.5%)、「近所の生垣や庭木」(39.2%)と続いた。

前回と比べ、「街路樹などの道路のみどり」が増えた。一方、「御嶽や拝所、墓地周辺のみどり」や「斜面や畑のみどり」が大幅に減少した。

表 2-20 住宅周りでみどりを感ずる場所

	回答数	回答数構成比 n = 1,390	対回答者数 n = 571
自宅の庭や屋敷林(樹木や草花)	181	13.0%	31.7%
斜面や畑のみどり	54	3.9%	9.5%
近所の生垣や庭木	224	16.1%	39.2%
街路樹などの道路のみどり	271	19.5%	47.5%
御嶽や拝所、墓地周辺のみどり	75	5.4%	13.1%
学校など公共施設のみどり	184	13.2%	32.2%
湧き水や河川、水路沿いのみどり	49	3.5%	8.6%
工場、会社など事業所のみどり	11	0.8%	1.9%
身近な公園や広場のみどり	307	22.1%	53.8%
その他	5	0.4%	0.9%
無回答	29	2.1%	5.1%
計	1,390	100.0%	

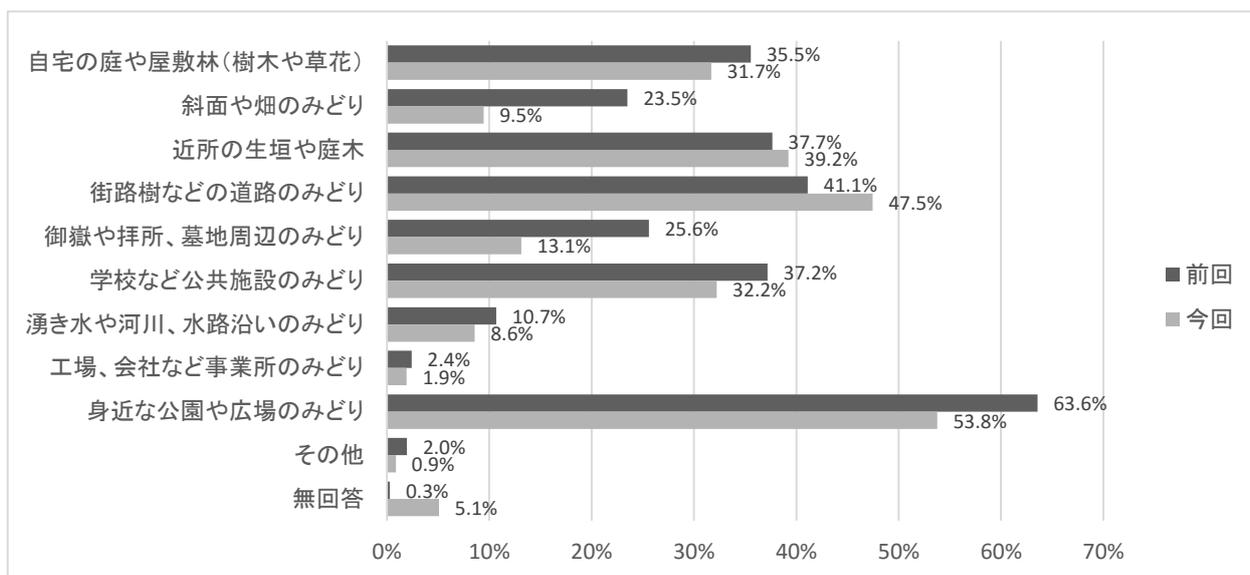


図 2-12 住宅周りでみどりを感ずる場所

⑬住宅近くの公園の利用状況

「行かない」(29.9%)が最も多く、「年に数回」(24.5%)とあわせると、半数以上があまり公園を利用していないと回答した。

前回と比べ、「行かない」との回答者が大幅に増えた。一方、「毎日」や「近くに公園がない」が大きく減った。全体としては、公園の利用が減っていると言える。

表 2-21 住宅近くの公園の利用状況

	回答数	構成比
毎日	16	2.8%
週に1回ぐらい	89	15.6%
月に1～2回	108	18.9%
年に数回	140	24.5%
行かない	171	29.9%
近くに公園がない	41	7.2%
無回答	6	1.1%
計	571	100.0%

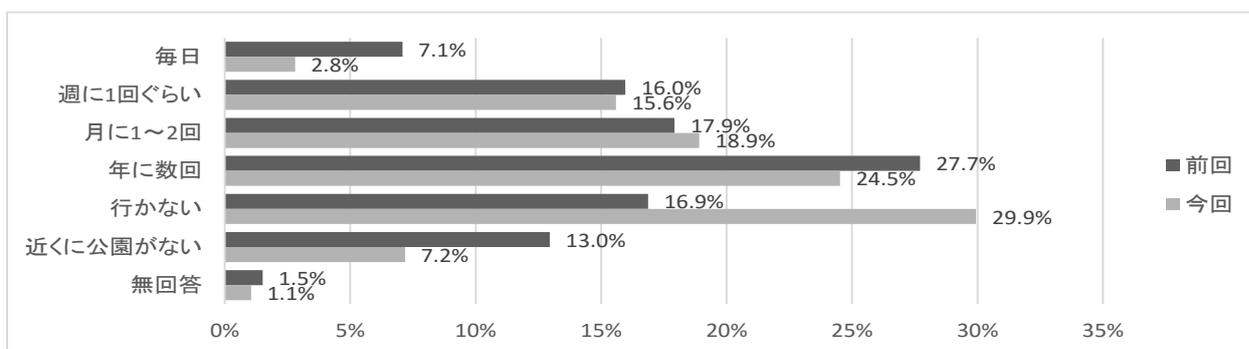


図 2-13 住宅近くの公園の利用状況

⑭住宅近くの公園の利用目的

「散歩をする」(28.5%)と「子どもを遊ばせる」(27.1%)が特に多くなった。

前回と比べ、公園の利用目的に大きな変化はないが、「木や花を眺める」が減った。

表 2-22 住宅近くの公園の利用目的

	回答数	構成比
子どもを遊ばせる	155	27.1%
知人や友人との語らい	9	1.6%
散歩をする	163	28.5%
休息をとる	38	6.6%
運動(スポーツ)をする	61	10.7%
木や花を眺める	32	5.6%
その他	26	4.5%
無回答	88	15.4%
計	572	100.0%

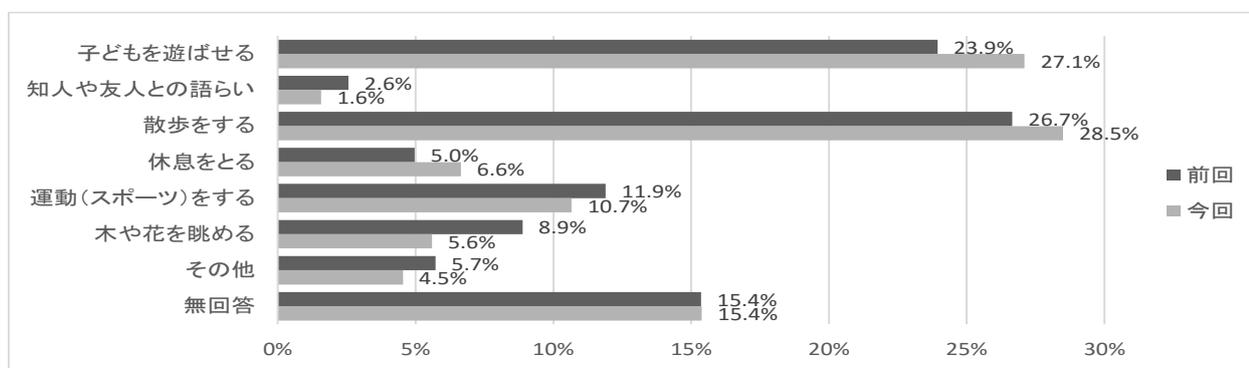


図 2-14 住宅近くの公園の利用目的

⑮市内にほしい公園

「子どもが遊べたりお年寄りが休息できたりする身近な憩いの場となる公園」(61.6%)が最も多く、「広い芝生や原っぱの中で思いっきり遊んだり運動したりできる公園」(37.1%)、「見晴らしのよい高台や林の中で散策などができる公園」(29.1%)が続いた。

前回と比べ、「樹木や花、野鳥や昆虫、水辺の生物などを観察できる自然豊かな公園」や「見晴らしのよい高台や林の中で散策などができる公園」が大きく減った。それ以外は、前回調査とほぼ同様の回答傾向となった。

表 2-23 市内にほしい公園

	回答数	回答数構成比 n = 1,580	対回答者数 n = 571
子どもが遊べたりお年寄りが休息できたりする身近な憩いの場となる公園	352	22.3%	61.6%
障害者や高齢者が気軽に行け、楽しめる公園	158	10.0%	27.7%
広い芝生や原っぱの中で思いっきり遊んだり運動したりできる公園	212	13.4%	37.1%
長いすべり台など充実した遊具が置かれている遊園地のような公園	76	4.8%	13.3%
バレーボールやテニスなどができる本格的なスポーツ施設がある公園	64	4.1%	11.2%
見晴らしのよい高台や林の中で散策などができる公園	166	10.5%	29.1%
樹木や花、野鳥や昆虫、水辺の生物などを観察できる自然豊かな公園	159	10.1%	27.8%
市の歴史や文化などが感じ取れるテーマ性を持った公園	73	4.6%	12.8%
まちなかに残る畑や空地で野菜や花づくりができる農園のような公園	70	4.4%	12.3%
海水浴や潮干狩り、バーベキューなどが楽しめる海辺の公園	128	8.1%	22.4%
樹木や花壇、ベンチや彫刻などを置いたまちなかのポケットパーク	104	6.6%	18.2%
その他	2	0.1%	0.4%
無回答	16	1.0%	2.8%
計	1,580	100.0%	

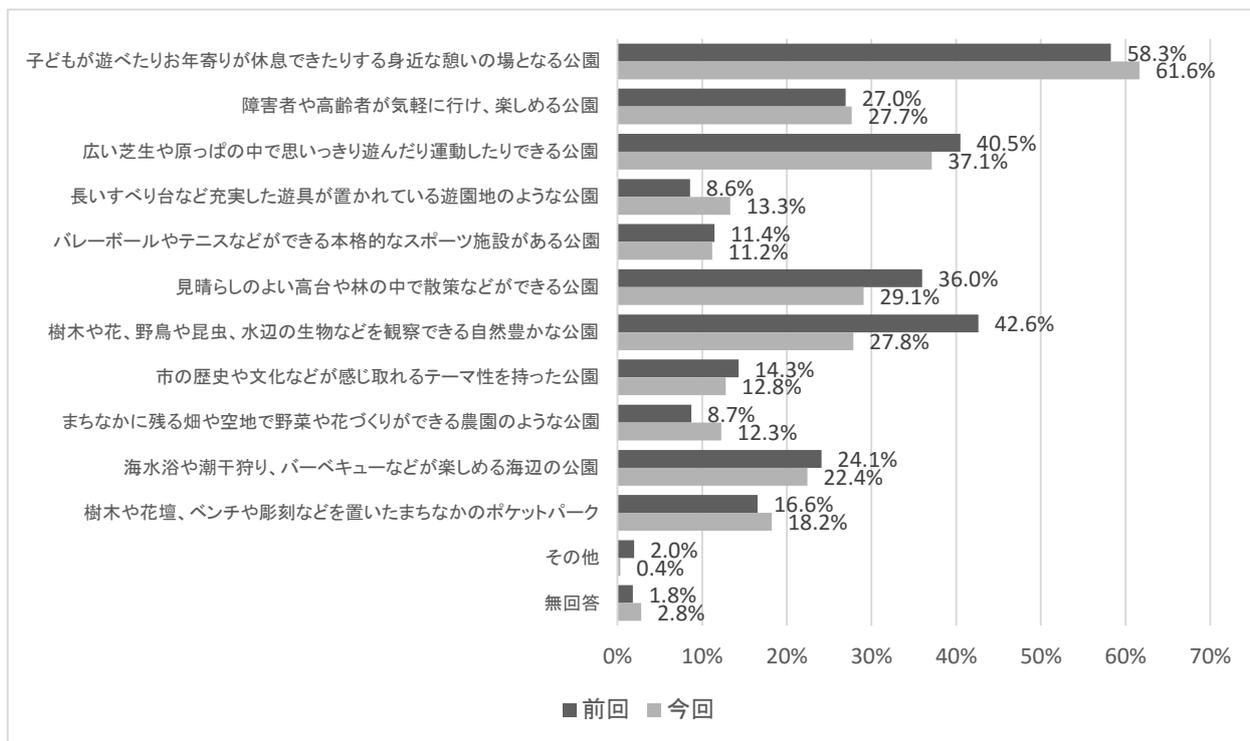


図 2-15 市内にほしい公園

⑩地区でのみどり関連の活動の参加・認知状況

「公園の清掃や草刈り等」(39.1%)が最も多く、次いで「草花づくり」(34.7%)、「街路樹の世話」(30.1%)と続いた。

前回と比べ、「街路樹の世話」が大きく増え、「字全体の草刈りや樹木の剪定などみどりの管理」が大きく減った。

表 2-24 地区でのみどり関連の活動の参加・認知状況

	回答数	回答数構成比 n = 1,207	回答者数構成 比 n = 571
草花づくり	198	16.4%	34.7%
植樹	90	7.5%	15.8%
街路樹の世話	172	14.3%	30.1%
小広場づくりと管理	71	5.9%	12.4%
御嶽や拝所の清掃や管理	92	7.6%	16.1%
字全体の草刈りや樹木の剪定などみどりの管理	153	12.7%	26.8%
公園の清掃や草刈り等	223	18.5%	39.1%
みどり全般の勉強会	13	1.1%	2.3%
その他	12	1.0%	2.1%
無回答	183	15.2%	32.0%
計	1,207	100.0%	

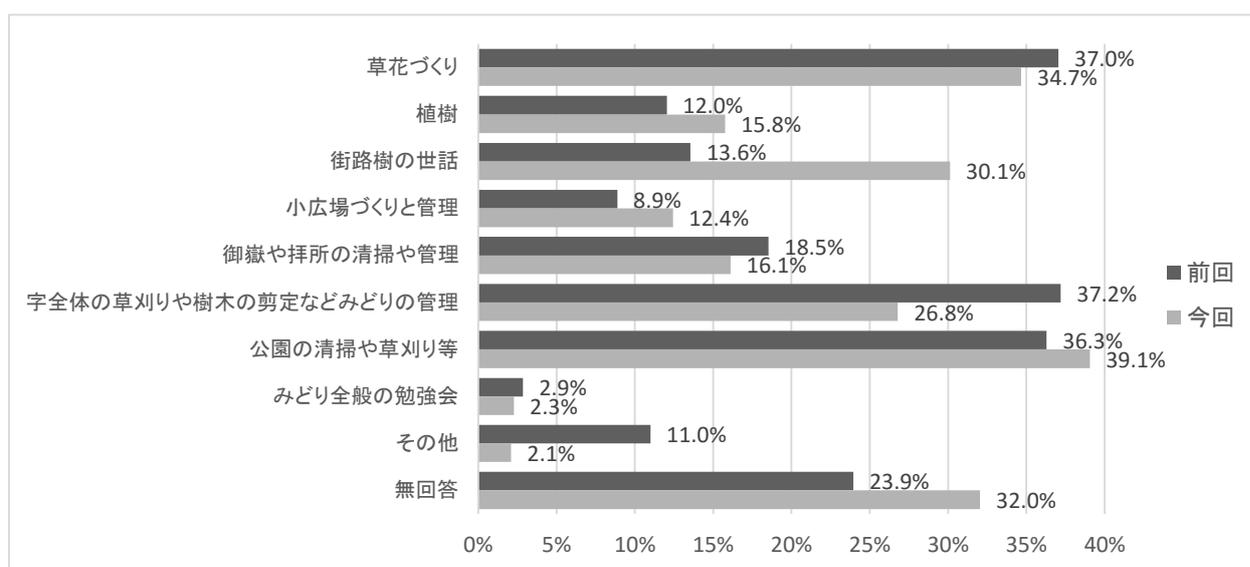


図 2-16 地区でのみどり関連の活動の参加・認知状況

⑰市によるみどり関連の活動の参加・認知状況

「花と緑のまちづくりフェスタ」(32.9%)が最も多く、次いで「牧港川クリーンアップ作戦」(28.9%)、「緑の募金」(28.4%)、「自治会への苗木・草花配布」(28.2%)と続いた。この4項目が特に多くなった。

一方、回答が少ないものとして、「生垣・壁面緑化助成制度」(2.5%)、「公園愛護会」(3.3%)、「不要樹木移植」(4.9%)があり、認知度の向上が必要と言える。

表 2-25 市によるみどり関連の活動の参加・認知状況

	回答数	回答数構成比 n = 1,277	対回答者数 n = 571
花と緑のまちづくりフェスタ	188	14.7%	32.9%
てだこパークフェスタ	99	7.8%	17.3%
不要樹木移植	28	2.2%	4.9%
自治会等への苗木・草花配布	161	12.6%	28.2%
市民農園・市民菜園	86	6.7%	15.1%
緑の募金	162	12.7%	28.4%
美らまちサポーター制度	47	3.7%	8.2%
まちづくりプラン賞	64	5.0%	11.2%
公園愛護会	19	1.5%	3.3%
生垣・壁面緑化助成制度	14	1.1%	2.5%
牧港川クリーンアップ作戦	165	12.9%	28.9%
環境学習講座(浦添大公園自然観察会)	44	3.4%	7.7%
その他	4	0.3%	0.7%
無回答	196	15.3%	34.3%
計	1,277	100.0%	

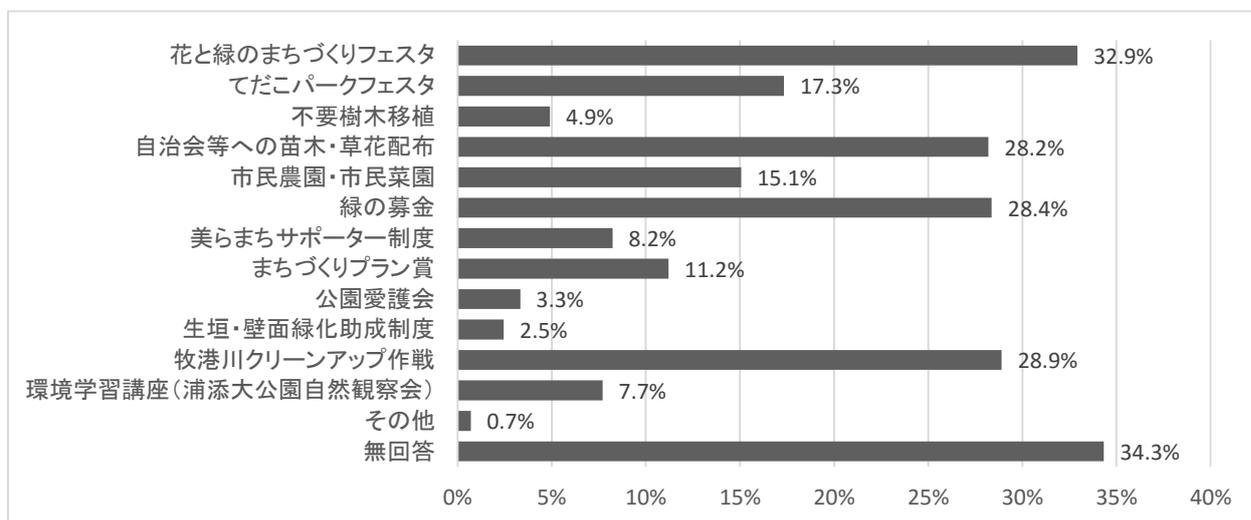


図 2-17 市によるみどり関連の活動の参加・認知状況

⑱参加してみたい活動

「花と緑のまちづくりフェスタ」(26.4%)が最も多く、次いで「特になし」(24.2%)、「自治会等への苗木・草花配布」(20.3%)と続いた。

「⑰市によるみどり関連の活動の参加・認知状況」と比較すると、「市民農園・市民菜園」や「環境学習講座」が高く、「牧港川クリーンアップ作成」が低くなった。

表 2-26 参加してみたい活動

	回答数	回答数構成比 n = 1,233	対回答者数 n = 571
花と緑のまちづくりフェスタ	151	12.2%	26.4%
てだこパークフェスタ	108	8.8%	18.9%
不要樹木移植	39	3.2%	6.8%
自治会等への苗木・草花配布	116	9.4%	20.3%
市民農園・市民菜園	115	9.3%	20.1%
緑の募金	111	9.0%	19.4%
美らまちサポーター制度	44	3.6%	7.7%
まちづくりプラン賞	42	3.4%	7.4%
公園愛護会	33	2.7%	5.8%
生垣・壁面緑化助成制度	35	2.8%	6.1%
牧港川クリーンアップ作戦	55	4.5%	9.6%
環境学習講座(浦添大公園自然観察会)	86	7.0%	15.1%
地域活動としての緑化・維持管理活動	77	6.2%	13.5%
その他	7	0.6%	1.2%
特になし	138	11.2%	24.2%
無回答	76	6.2%	13.3%
計	1,233	100.0%	

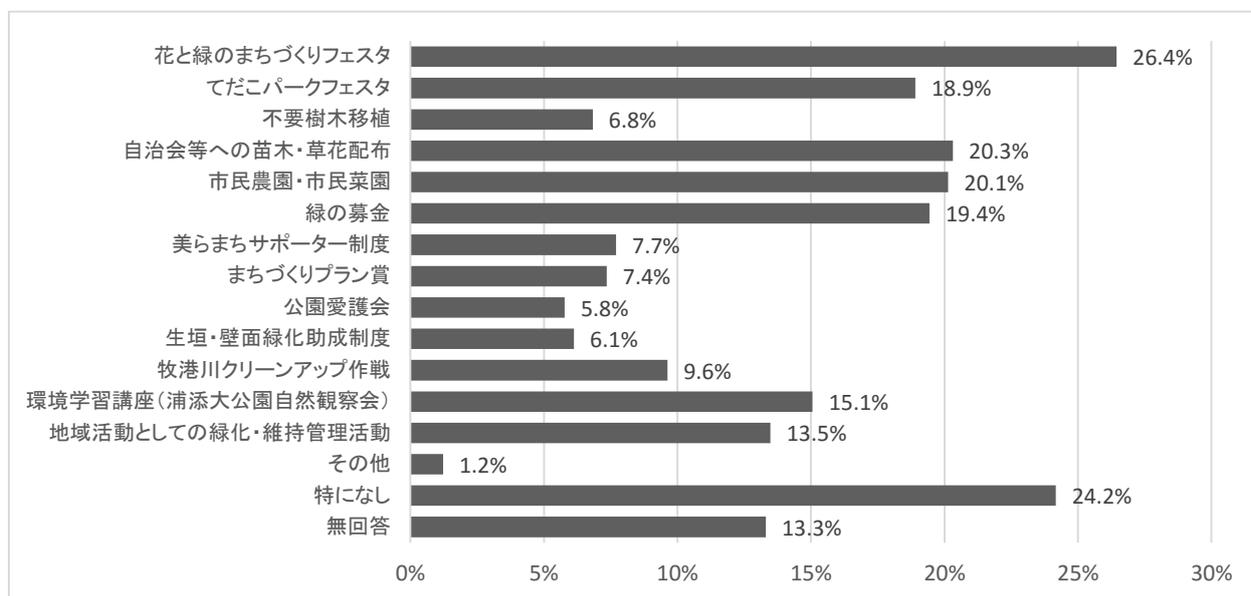


図 2-18 参加してみたい活動

⑭市民参加のために必要な取り組み

「苗木や花、種などを配布する」(49.4%)と「緑や自然を楽しむイベントを開く」(48.7%)が多く、ともに約半数の回答があった。続いて、「身近な場所での草花などの植栽などの市民の参加しやすい緑化活動を展開する」(30.8%)、「自治会や地域ぐるみの緑化の取り組みに対し、支援・指導を行う」(28.5%)の順となった。

前回と比べ、「緑や自然を楽しむイベントを開く」と「植栽や管理を行うボランティアや指導員を育成する」が増え、「自治会や地域ぐるみの緑化の取り組みに対し、支援・指導を行う」や「身近な場所での草花などの植栽などの市民の参加しやすい緑化活動を展開する」が減った。

表 2-27 市民参加のために必要な取り組み

	回答数	回答数構成比 n = 1,396	対回答者数 n = 571
苗木や花、種などを配布する	282	20.2%	49.4%
樹木・草花の育て方、管理を相談できる場所を設置する(緑の相談所)	128	9.2%	22.4%
花や緑に関する講習会や講演会などのイベントを開く	100	7.2%	17.5%
緑や自然を楽しむイベントを開く(はなまつり、自然観察会など)	278	19.9%	48.7%
民有地の緑化の事例や管理方法を紹介したガイドブックを作成する	53	3.8%	9.3%
自治会や地域ぐるみの緑化の取り組みに対し、支援・指導を行う	163	11.7%	28.5%
身近な場所での草花の植栽などの市民の参加しやすい緑化活動を展開する	176	12.6%	30.8%
植栽や管理を行うボランティアや指導員を育成する	98	7.0%	17.2%
緑の表彰制度を設ける(緑化景観賞など)	64	4.6%	11.2%
その他	3	0.2%	0.5%
無回答	51	3.7%	8.9%
計	1,396	100.0%	

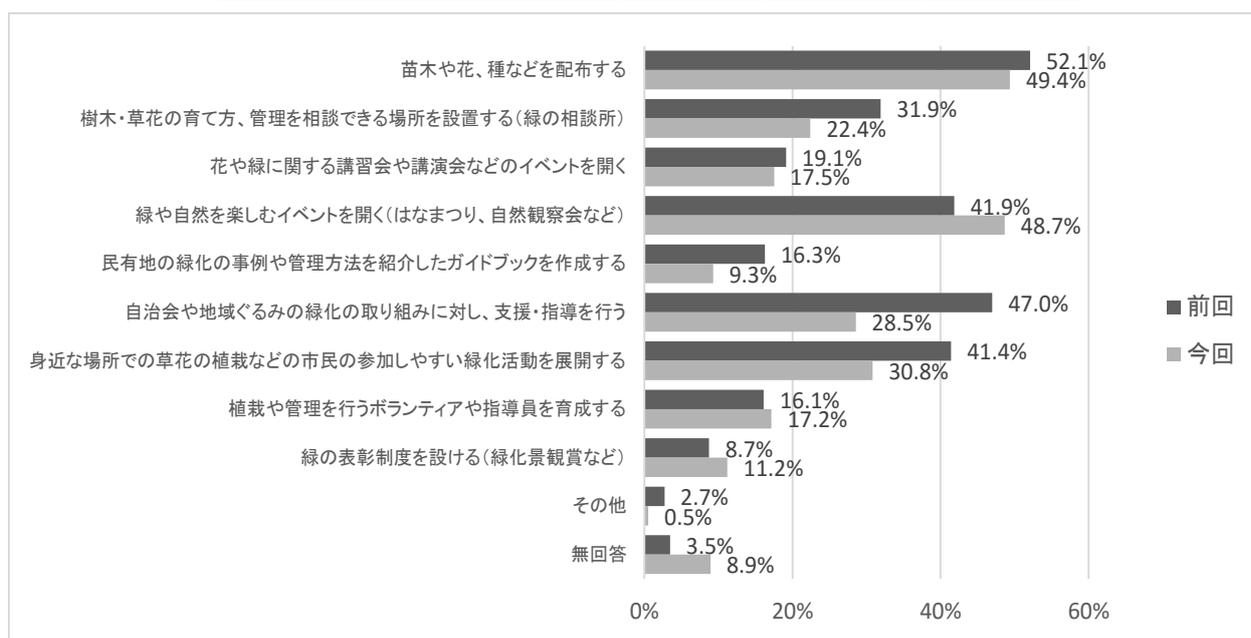


図 2-19 市民参加のために必要な取り組み

⑳みどりのまちづくりに必要な市の取り組み

「公園や街路樹の適切な維持管理」(66.5%)が他を大きく引き離し、最も多くなった。次いで、「身近な公園の充実」(36.1%)、「海岸や河川、水路などの水辺環境の保全」(25.4%)、「市を代表するような公園の充実」(23.1%)が続いた。

表 2-28 みどりのまちづくりに必要な市の取り組み

	回答数	回答数構成比 n = 1,505	対回答者数 n = 571
農地や樹林地などの保全	71	4.7%	12.4%
公園や街路樹の適切な維持管理	380	25.2%	66.5%
市を代表するような公園の充実	132	8.8%	23.1%
身近な公園の充実	206	13.7%	36.1%
街路樹の拡大	111	7.4%	19.4%
公共施設の緑化	107	7.1%	18.7%
御嶽や拝所などの保全と緑化	62	4.1%	10.9%
海岸や河川、水路などの水辺環境の保全	145	9.6%	25.4%
市民農園の充実	61	4.1%	10.7%
生垣など緑化に対する助成制度の充実	37	2.5%	6.5%
住民の活動参加への仕組みづくり	88	5.8%	15.4%
整備や開発における生物への配慮	75	5.0%	13.1%
その他	0	0.0%	0.0%
無回答	30	2.0%	5.3%
計	1,505	100.0%	

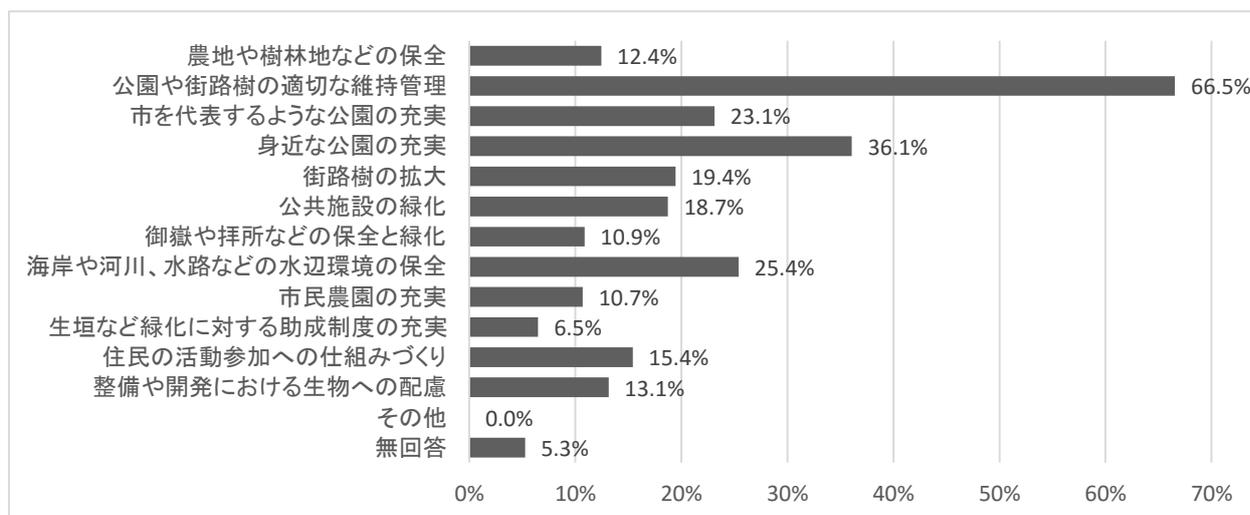


図 2-20 みどりのまちづくりに必要な市の取り組み

水と緑に関する意識調査のお願い (「緑の基本計画」市民アンケート)

はじめに

日頃から市政の運営に多大なご協力をいただき、誠にありがとうございます。

浦添市では、「太陽とみどりにあふれた国際性ゆたかな文化都市」を目指し、平成12年に策定した「ティーダヌファみどり計画」に基づき公園整備や道路の緑化、河川の親水化などに取り組んでいます。

計画の策定から15年が経過し、社会情勢や市民ニーズの変化などに対応した計画の見直しを行うにあたり、計画の見直しをはじめとした今後の施策展開に役立てることを目的とし、市民意識調査を実施します。

なお、この調査は、20歳以上の市民の皆様の中から、無作為でお選びした3000の方に、ご協力をお願いしております。

ご多忙のところ誠に恐れ入りますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成27年12月 浦添市長 松本 哲治

ご回答にあたって

- 1) ご回答いただいた内容は統計的に処理します。個々の回答内容を公表することはありませんので、皆様にご迷惑をおかけすることはありません。どうぞ、ご自身の考えのままをご回答下さい。
- 2) ご回答は、家族の方と一緒に記入されてもかまいませんが、年齢や居住年数等については、主に記入された方の内容についてお答えください。また、ご回答は、該当する番号を**太わく内**にご記入下さい。
- 3) 答えが「その他」に該当する場合は、その番号を太わく内に記入し、()内へできるだけ具体的にご記入下さい。
- 4) ご回答いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れ、**12月21日(月)**までにご投函下さい。
- 5) 本調査の結果は、後日、市のホームページにて公開する予定です。

調査に関する問い合わせ先

浦添市役所担当課…美らまち推進課 TEL：876-1234 内線4061 担当：大城

⑥ あなたは浦添市にあるどんなみどりが好きですか、または大切にしたいのはどんなみどりですか。
次の中から**3つ以内**で選んで下さい。

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 1. 自宅の庭や屋敷林（樹木や草花） | 2. 斜面や畑のみどり |
| 3. 近所の生垣や庭木 | 4. 街路樹など道路のみどり |
| 5. 御嶽や拝所、墓地周辺のみどり | 6. 学校など公共施設のみどり |
| 7. 湧き水や河川、水路沿いのみどり | 8. 海岸のみどり |
| 9. 工場や会社など事業所のみどり | 10. 身近な公園や広場のみどり |
| 11. まちかどの木立や草花のうえこみ | 12. 浦添グスク周辺のまとまったみどり |
| 13. 米軍基地内に残のみどり | |
| 14. その他（ | ） |

→ ⑥

⑦ あなたが⑥であげた中から、浦添市内でもっとも好きなみどりの場所とその理由を教えてください。
（〇〇地域の〇〇公園などと場所がわかるように書いて下さい。）

→ ⑦

もっとも好きなみどりの場所： <hr/> その理由：

⑧ あなたは市内でもっとみどりを増やしたらいいなと思われるところがありますか。
次の中から**3つ以内**で選んで下さい。

- | | |
|-------------------|----------------------------|
| 1. 自宅の庭など住まいの周辺 | 2. 近所の工場や会社などの事業所 |
| 3. 近所の公園や広場 | 4. 商店街やショッピングセンター等の人の賑わう場所 |
| 5. 近所の斜面や擁壁 | 6. 市の歴史や文化にゆかりのある場所 |
| 7. 買い物や通学等でよく通る道路 | 8. 河川や水路の水辺沿い |
| 9. よく利用するバス停の周辺 | 10. 近所の学校や公共施設の敷地 |
| 11. その他（ | ） |

→ ⑧

⑨ あなたは市内のみどりの問題点は、どのようなことだと思いますか。
次の中から**3つ以内**で選んで下さい。

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 1. 市街地に緑や公園が少ない | 2. 使いたい公園がない |
| 3. 川や海の水が汚れている | 4. 荒廃した樹林地が増えている |
| 5. 耕作していない農地が増えている | 6. 開発によりみどりが減っている |
| 7. 自然とふれあえる場所が減っている | 8. 公園や街路樹の手入れが不十分である |
| 9. 市民のみどりに対する意識が低い | 10. 特に問題はない |
| 11. その他（ | ） |

→ ⑨

⑱ 今後、参加してみたい、または協力できるみどりに関する活動はありますか。
次の中から参加してみたい、協力できるもので**当てはまる番号を全て**選んで下さい。

- | | | |
|------------------------|------------------|-----------|
| 1. 花と緑のまちづくりフェスタ | 2. てだこパークフェスタ | 3. 不要樹木移植 |
| 4. 自治会等への苗木・草花配布 | 5. 市民農園・市民菜園 | 6. 緑の募金 |
| 7. 美らまちサポーター制度 | 8. まちづくりプラン賞 | 9. 公園愛護会 |
| 10. 生垣・壁面緑化助成制度 | 11. 牧港川クリーンアップ作戦 | |
| 12. 環境学習講座（浦添大公園自然観察会） | | |
| 13. 地域活動としての緑化・維持管理活動 | | |
| 14. その他（ | ） | 15. 特になし |

⑱

⑲ あなたは、みどりのまちづくりに市民が参加するには、今後、浦添市はどのような支援を進めていくことが必要だと思いますか。次の中から**3つ以内**で選んで下さい。

1. 苗木や花、種などを配布する
2. 樹木・草花の育て方、管理を相談できる場所を設置する（緑の相談所）
3. 花や緑に関する講習会や講演会などのイベントを開く
4. 緑や自然を楽しむイベントを開く（はなまつり、自然観察会など）
5. 民有地の緑化の事例や管理方法を紹介したガイドブックを作成する
6. 自治会や地域ぐるみの緑化の取り組みに対し、支援・指導を行う
7. 身近な場所での草花の植栽などの市民の参加しやすい緑化活動を展開する
8. 植栽や管理を手伝うボランティアや指導員を育成する
9. 緑の表彰制度を設ける（緑化景観賞など）
10. その他（

⑲

⑳ みどりのまちづくりを進めていくために、浦添市が行う取り組みとして、特に何が重要だと考えますか。
次の中から**3つ以内**で選んで下さい。

- | | |
|---------------------|-----------------------|
| 1. 農地や樹林地などの保全 | 2. 公園や街路樹の適切な維持管理 |
| 3. 市を代表するような公園の充実 | 4. 身近な公園の充実 |
| 5. 街路樹の拡大 | 6. 公共施設の緑化 |
| 7. 御嶽や拝所などの保全と緑化 | 8. 海岸や河川、水路などの水辺環境の保全 |
| 9. 市民農園の充実 | 10. 生垣など緑化に対する助成制度の充実 |
| 13. 住民の活動参加への仕組みづくり | 14. 整備や開発における生物への配慮 |
| 15. その他 () | |

→ ㉔

㉑ 最後にみどりに関するご意見、ご希望、及び浦添市の「みどりの保全や推進」に対するご意見などをご自由にお書き下さい。

→ ㉑

--

-----ご協力ありがとうございました。-----

◆◆ みどりに関する活動のご紹介 ◆◆

選択肢 番号	活 動 名	概 要
1	花と緑のまちづくりフェスタ	緑化により地域に潤いを与え、環境が向上するような場所について、自治会等を中心に緑化計画を応募して頂きます。 審査を経て整備箇所を決定し、緑化計画に基づく整備計画を地域の方と共に作ります。整備は市が行い、整備後は地域住民が維持管理を行います。
2	てだこパークフェスタ	市民の緑に対する意識啓発と公園の利用促進を図るイベントです。浦添運動公園を会場に、緑と花に関する体験講習会や教室を開催しています。
3	不要樹木移植	建物の新築や増改築等により、やむを得ず不要となった樹木を市が引き取り、公共施設等に移植します。
4	自治会等への苗木・草花配布	広場など公共的な場所の緑化活動に対し、活動団体である浦添市各自治会が主体となって計画した活動内容に合わせ、季節に合わせた花苗等を配布しています。
5	市民農園・市民菜園	遊休農地や空き地の活用策として、農業者以外の市民が野菜や花等を栽培して、自然に触れ合うとともに、農業の振興及び住環境改善を目的とし、市民農園・市民菜園を開設しています。
6	緑の募金	昭和25年スタートの「緑の羽根募金」は、平成7年に「緑の募金」と改められ、県内では沖縄県緑化推進委員会が募金活動を行っており、県内及び市内の地域緑化に活用されています。
7	美らまちサポーター制度	市が管理する道路の植栽帯等、公共の場所を対象に「清掃・除草・草花植栽・散水」等の定期的ボランティア活動を行う者（美らまちサポーター）に対し、活動に必要な物的支援を行っています。
8	まちづくりプラン賞	市の自然、文化を活かし、地域の美しい風景を守り、育て、創造するまちづくり活動について、市民が自ら考え、行動する活動を助成するものです。
9	公園愛護会	公園愛護の普及及び向上を図ることを目的とし、公園の美化及び施設の保全等の活動を地域住民が自発的に行う団体です。市では、公園愛護活動協力金の交付などにより活動を支援しています。
10	生垣・壁面緑化助成制度	生垣設置、壁面緑化の樹木の配布をし、緑豊かな生活環境を確保し、快適な緑のまちづくりを積極的に推進するものです。
11	牧港川クリーンアップ作戦	市民、事業者、民間団体及び市が協働して牧港川上流域の清掃活動を行うことにより、川に親しんでもらい、市民に川の現状を知ってもらう機会となっています。
12	環境学習講座（浦添大公園自然観察会）	環境学習講座は、市内在住の小学生を対象に開催される講座で、浦添大公園自然観察会など身近な自然や暮らしの環境について体験して学ぶ講座となっています。